

## 教授会議事録

日時：平成23年1月11日（火）14時50分から18時05分

場所：電気通信研究所大会議室

議事に先立ち、議長から人事異動について配付資料により報告があった。

### 議事録の確認

平成22年12月7日（火）開催の定例教授会議事録について、一部修正の上承認した。

### I. 報告事項

#### 1. JST研究開発戦略センター業務の経過報告

配付資料に基づきセンターの概要と現在従事している業務について報告があった。

#### 2. 学内外諸会議等報告

##### (1) 部局長連絡会議

議長から、12月21日に開催された部局長連絡会議について、配付資料に基づき以下の報告があった。

- ①平成23年度予算の内示について
- ②平成23年度予算に対する緊急声明について
- ③業務改革推進室アクションプランについて
- ④平成22年度総長裁量経費について
- ⑤事業仕分け第3弾及び元気な日本復活特別枠要望における評価結果について
- ⑥学務審議会大学院教育のあり方に関するワーキンググループ報告について
- ⑦地下鉄東西線に係る機能補償（電磁界）対応ワーキンググループの設置について
- ⑧遺伝子・動物実験 web システムについて
- ⑨平成23年度科学研究費補助金応募状況について
- ⑩東北大学における学生相談体制の整備・充実について
- ⑪個人情報保護の安全確保措置の徹底に関する注意喚起等について
- ⑫井上プランに係る部局訪問による意見交換会について
- ⑬学友会費の納入について
- ⑭百周年記念会館展示ギャラリーの活用について

また、「リーディング大学院」構想について、部局長に代わり説明会に出席した教授及びGC O Eリーダーの代理として出席した教授から配付資料に基づき説明があった。これから公募される大型プロジェクトであり、他大学では（京都大学、東京工業大学、慶応大学など）積極的に準備を進めているところもあり、本学としても精査の上応募していく方針であることが説明され、通研としては電気・情報系と連携を図り準備を進めることとした。

##### (2) 研究所長会議

議長から、12月21日に開催された研究所長会議について、来年度開催される片平まつり2011の当番部局が通研であるとの報告があった。

##### (3) 附属図書館商議会

12月9日に開催された附属図書館商議会について配付資料に基づき、附属図書館創立百周年記念事業が5月28日を中心に開催されること、また電子ジャーナル・コンソーシアム連携組織案について報

告があった。

#### (4) 安全保障輸出管理委員会

12月17日に開催された安全保障輸出管理委員会について以下のとおり報告があった。

- ①安全保障輸出管理室が産学連携課から研究協力課へ組織変更されたこと。
- ②現在安全保障輸出管理体制の見直していること。新年度分からより簡素化した方法で管理する方法が検討されていることが説明された。
- ③海外でのノートパソコン紛失事故について、個人情報流出に加え安全保障輸出上の問題も発生すること。なお、今回の紛失事故については保存されていたデータが公知の技術に関することであったため、安全保障輸出管理上問題はなかったとの説明があった。

### 3. 運営会議等報告

#### (1) 研究企画委員会

研究企画委員会について以下のとおり報告があった。

- ①平成23年度の主な行事について日程説明があった。
  - ・研究交流会 7月29日(金)
  - ・片平まつり(通研公開) 10月8日(土)、9日(日)
  - ・東京フォーラム 11月18日(金)
  - ・運営協議会 12月9日(金)
  - ・共同プロジェクト研究発表会 平成24年3月2日(金)
- ②独創的研究支援プログラムの要項を確認したこと。
- ③共同プロジェクト研究発表会のアンケートを確認したこと。
- ④RIECアワードについて確認したこと。
- ⑤第1期中期目標期間に係る教育研究の評価結果について報告があったこと。
- ⑥IT21センターの今後について検討したこと。

#### (2) 安全衛生委員会

12月28日に開催された安全衛生委員会について特段問題となるようなことはなかったことが報告された。

また、全学の環境・安全委員会においてキャンパス全面禁煙のロードマップが示され、3月までに建物内喫煙所を廃止し敷地内の灰皿を撤去すること、また禁煙推進委員会を設置し事業場としての計画を策定することが報告された。

なお、キャンパス周辺での喫煙についてどのように対応するかなど安全衛生委員会が禁煙推進委員会として禁煙計画の策定を行うとの説明があった。

#### (3) 通研安全保障輸出管理委員会

既に周知は行っているが安全保障輸出管理に関する説明会が1月下旬に開催されるので、委員の方をはじめ出来るだけ多くの方に参加していただきたいとの説明があった。

#### (4) 学部教務委員会

学部教務委員会について配付資料に基づき以下のとおり報告があった。

- ①学生のフォローアップを行っていること。
- ②成績評価について、電気・情報系としては履修放棄は不合格と同じとする案に賛成すること。
- ③平成23年度アドバイザー教員に通研では3名が担当することになること。
- ④3年生の工場見学説明会を1月24日に実施すること。
- ⑤平成23年度教務委員を選出したこと。

## (5) 電気・情報系進路指導委員会

電気・情報系進路指導委員会について以下のとおり報告があった。

- ①12月末に進路指導の説明会を実施したこと。
- ②2月10日までに進路希望調書等を指導教員に提出し、指導教員との面談を行うことになっているので対応願いたいこと。コミュニケーションがうまく取れない学生が多いので指導方願いたい旨依頼があった。なお、指導教員の面談後、委員との面談を経て推薦者が決定することが説明された。

## (6) 寄附研究部門運営委員会

12月15日に開催された寄附研究部門運営委員会について以下のとおり報告があった。

- ①10月に実施した富士電機との交流会後の成果について報告があったこと。
- ②寄附研究部門の活動を産学連携活動・交流活動・自主研究活動の3つに分けて現状分析を行ったこと。
- ③今年度の総括と来年度の計画を行ったこと。

なお、共同研究の標準的な契約書のひな型を作成しておくとの説明があった。

## (7) 学生生活協議会

12月13日に開催された学生生活協議会について以下のとおり報告があった。

- ①現在のところ深刻な学生運動の動きはないこと。
- ②カルト教団の偽装勧誘が発生しておりモニターしている状況であること。特に「留学」を装って勧誘する手口が増えている。
- ③学生の事故や盗難が多いこと。なお、自転車の盗難が月10件程度発生しており、二重施錠を呼び掛けてはいるがあまり実行されていないとの説明があった。
- ④新年度を迎え新歓コンパなどで飲酒する機会が増えるので、無理な飲酒を行わないよう協力願いたいこと。

## 4. 第1期中期目標期間に係る教育研究の評価結果報告書(案)について

第1期中期目標期間に係る教育研究の評価結果について配付資料に基づき報告があり、異議申し立てを行っていた項目のうち「研究活動の状況」と「質の向上度」の評価が変更になったことが説明され、評価が向上したので今回の評価結果に対する異議申し立ては行わないことが報告された。

また、最初に提出した報告書はポイントを押さえていない内容だったので今後のために分析を行った方がよい、国際化、論文数、産業界との連携、ファンディングなどを押さえて報告できるように、データを数値で把握しておくなど準備を心がけるよう次の評価担当委員に引き継いで欲しいとの説明があり、また評価WGは当初の目標を達成したので解散するとの発言があった。

続いてWGメンバーより次のような意見が出された。

- ・実績はあったとしてもアピールするのは難しいので、施策を打ったことにより改善したり成果が上がったことを数値化するなど工夫してアピールすることが必要。
- ・どうやったら自分の研究成果を分野外の方にもアピールできるのか、論文を一言で表したり、プレスリリースを活用したりするのも大切。
- ・通研の向かうべき方向を明確にした方がよいのではないか。毎年数値データをきちんと追いかけておいた方がよいのではないか。
- ・論文を調査したうちインデックスに係らないものが半分あったので、英文での投稿を増やした方がよいのではないか。

最後に議長よりWGのメンバーへの謝辞があり、今後は評価について誰かがまとめてくれるだろうと人任せにせず、個々が自分のことと捉え対応して欲しいとの発言があった。

## 5. 産学連携マッチングファンド審査結果について

産学連携マッチングファンドの審査結果について配付資料に基づき、4件申請があり審査会で検討の

結果1件当たりの研究費を減額しました総額を増額させることにより4件採択したとの報告があった。  
なお、新年度からは准教授も応募ができるようになったとの説明があった。

6. 共同プロジェクト研究発表会アンケート結果について

共同プロジェクト研究発表会アンケート結果について配付資料に基づき報告があった。  
講演会については概ね好評であり、ポスター発表については問題点の指摘が目立ったとのことである。  
共同利用・共同研究拠点として共同プロジェクト研究は根幹をなすものであり、来年度以降も継続して発表会を実施する予定であり、来年度は3月に開催予定であることが説明された。

7. 独創的研究支援プログラムについて

平成23年度独創的研究支援プログラムについて配付資料に基づき、①平成22年度と同様に1～2件の採択予定であること、②1件当たり年500万円を上限とし最長3年間の補助であること、③プログラム推進のためのサポート小委員会を設置する予定であることが説明され、積極的に応募するよう依頼があった。  
なお、採択者に対する進捗状況の報告会を予定していることが説明された。

8. RIEC NEWS について

配付資料に基づき RIEC NEWS の発刊進捗状況について報告があった。  
なお、創刊号は12ページの予定であるが、通常版は8ページになるとの説明があった。  
また、原稿についてはほぼ揃ってはいるが、未提出の場合至急提出するよう依頼があった。

9. その他

(1) 職員及び学生の受賞について

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(2) 受託研究の受入について

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(3) 受託研究員の受入れについて

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(4) 民間等との共同研究の受入について

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(5) 研究所等研究生の指導教員の変更について

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(6) 奨学寄付金及び受託研究の受入について

事務長から、平成22年度第3四半期の受入状況について配付資料に基づき報告があった。

(7) 先端研究拠点事業（国際戦略型）への移行採択について

議長から、先端研究拠点事業において採択されている「超高速光通信に関する拠点形成」が国際戦略型へ移行採択されたことが報告され、今後3年間ドイツ、デンマーク、イギリス等の研究機関と連携し国際化を図っていくとの説明があった。

## II. 協議事項

### 1. 片平キャンパスの自動車制限ルール案について

配付資料に基づき自動車制限ルール案について以下のとおり説明があり、部局の意見を求められていることが報告された。

- ① 乗り入れる自動車数を減らすため入構する自動車を制限するルールを定めること。
- ② 片平キャンパスの駐車場を本部で一括管理すること
- ③ 負担金を徴収すること。

説明後、以下のような意見が出され、これ以外にも意見がある場合は申し出ることとした。

- ・本部での一元管理ができるのか。
- ・負担金は1,000円程度が妥当ではないのか。
- ・負担金徴収は反対。
- ・部局の状況を加味しておらず、一方的である。
- ・業務上キャンパス移動があるためキャンパスバスの拡充が必要である。

### 2. 内規等の改正について

事務長から、配付資料に基づき内規等の改正について提案があり、承認された。

東北大学電気通信研究所リサーチ・アシスタント（RA）実施要項

## III. その他

### (1) 各部門長・各委員の交代について

配付資料に基づき任期満了となる部門長、各種委員会委員等の選出について、新たな委員等を庶務係まで連絡いただきたい旨依頼があった。

なお、選出にあたり問題がある場合は相談して欲しい旨付言があった。

### (2) 個人情報の安全確保措置の徹底に関する注意喚起等について

配付資料に基づきパソコン紛失に係る注意喚起について説明があり、通研としてのルールを3月までに作成する予定であるが、くれぐれもパソコン紛失に注意して欲しいこと、またパスワードの設定や不要なファイルは保存しないなど説明があった。今後はやわらかと相談の上分かりやすいルールを示していきたいとのことである。

個人所有のパソコンであろうと東北大のネットワークに繋がった時点で大学の管理規程に従うべきパソコンになってしまうので、通研のルールも大学全体のルールに従ったものにしていただきたいとの発言があった。またパスワードの設定は必ず行うよう付言があった。

### (3) 通研国際シンポジウムについて

配付資料に基づき2月3日、4日に開催される通研と省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンターの共催シンポジウムについて説明があり、多数参加願いたい旨依頼があった。

### (4) 共同プロジェクト研究について

平成23年度共同プロジェクト研究の公募を開始し、ホームページに公募要項等を掲載した旨報告があった。

また、平成22年度共同プロジェクトについて予算の総括を行っていただきたい旨依頼があった。

### (5) 次回開催について

平成23年2月8日（火）14:00から開催することとした。

以上